



# 別所憲法9条の会 たより

2023年7月第181号

安保法制廃止・軍事費倍増・軍備強化を許さない・敵基地攻撃能力保持反対・9条守って平和外交を

今年は、気温が例年よりも高く暑い夏になる見込みと発表されましたが、すでに30度超の蒸し暑い日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか？ 店にはスイカがたくさん並ぶようになり、子どもの頃はおやつや水がわりに毎日のように食べていたなあと懐かしながら、ついついポンポンと触ったりしてしまいます。今では『縞王』『甘泉』『祭りばやし』等々いろんな品種があるようです。いつもの夏が戻り子どもたちはスイカ割をする機会が増えそうですね。

ロシアがウクライナへ侵攻した2022年2月以降クリミア半島の軍港には、「軍用イルカ」の生簀が設置され、生簀もイルカも数が増えているそうです。破壊活動する敵の潜水士を見つけ排除したり敷設された機雷を取り除いたりする技を備えるバンドウイルカです。米軍が59年からイルカの研究に着手しロシアが60年代から追従し、今ではベルーガ(白イルカ)も訓練されているようです。戦争のために生きものへの残酷な止むことのない訓練や計り知れない環境破壊が進む昨今、平和憲法9条を守り続けることは、地球規模で考えても決して大げさではない大切なことのように思われます。

## 7月のご案内

### 7月例会

日 時 7月31日（月）13：30～16：00

（今月は第5月曜日です）

会 場 長池公園自然館 第一会議室

内 容 「あの戦争は何だったのか？」をテーマに交流します

1894年日清戦争から1945年太平洋戦争敗戦までの  
経過から考える

何故日本は長期にわたる戦争を繰り返してきたのか？そして  
今の状況は？等について意見交換しましょう

参加費 300円

★新型コロナ感染症対策については、会館の指示に従ってご参加下さい。



### 6月の例会報告

6月例会は元小学校教師で現在子どもたちに戦争の実相を伝える活動などを続けておられる栗原せん三さんを講師に迎え、学習と交流を行いました。

栗原さんからは①柚木地区で実際に起こった零戦とグラマンの空中戦とその遺跡（零戦の搭乗兵の墓標の紹介も）

②八王子空襲の実際—8月2日の夜半。なぜ八王子市に空襲？交通の要所、中島飛行場の近くなどが考えられる

③学童疎開については、子どもたちに分かり易くと、紙芝居を作り紹介しているものを見せて頂きました。学童疎開が十分な準備もなく現場任せに実行され、子ども達や教員などにとって、いかに過酷であったかなども詳細に紹介されました。

「子どもたちには八王子市の平和都市宣言」を伝え、平和について考える大きさを話しておられるとの事でした。



堀之内駅前での宣伝  
7/17（月）10:00～  
ロシアのウクライナ侵略反対  
大軍拡・大増税反対署名  
改憲させない・9条守ろう

7/16（日）10:30～  
NO WAR 八王子アクション  
JR八王子駅北口

7/19（水）18:30  
戦争させない  
9条壊すな19日行動  
議員会館前

### 一言感想から

★こんなにリアルな戦争の跡を聞き、驚きました。多くの人に知らせたい。

★次の世代へ戦争の実態を伝える事の大切さを深く感じた。戦争を体験した世代は更に責任が有ると思わされた。

★柔軟な子どもの時期に事実を伝え、戦争の悲惨さ平和の尊さを伝える事が大切。いま、栗原さんのような活動が貴重だと深く感じる。

★国家権力がリードする現在の教育システムでは困難だが何とかしたい。

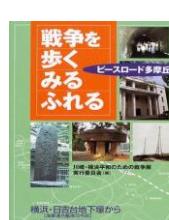
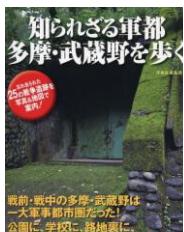
若い先生たちとフィードワークなどがしたい

## 八王子や多摩にも“戦争”があった

書籍の紹介です

ここはニュータウンだから、戦前・戦中から住んでいるという人は少ない。戦争に関する施設があったことや戦争の被害について、あまり知られていないのも、無理のないことである。戦争はいけない、平和が大切だというのは、みなに共通する思いだろうが、そのために必要なことは何か、望んでもいない戦争の惨禍が起きるのはなぜか。そのことを考えるためにも、まずは身近な戦争遺跡や被害の実態を知ることから始めたい。

- ① 『ガイドブック 八王子の戦跡』 摺籃社、2020年、ISBN 978-4-89708-432-9、1,200円
- ② いのはなトンネル列車銃撃空襲遭難者慰靈の会（編）『中央本線 419列車一いのはなトンネル列車銃撃空襲の悲劇』 摺籃社ブックレット 11、2018年、ISBN 978-4-89708-405-3、600円
- ③ 浅川地下壕の保存をすすめる会（編）『フィールドワーク 浅川地下壕—学び・調べ・考えよう』 平和文化、2005年、ISBN 4-89488-029-6、600円
- ④ 川崎・横浜平和のための戦争展実行委員会（編）『戦争を歩く・みる・ふれる—ピースロード多摩丘陵』 教育資料出版会、2001年、ISBN 4-87652-406-8、1,600円
- ⑤ 増田康雄、『多摩の戦争遺跡』 新日本出版社、2017年、ISBN 978-4-406-06153-7、2,300円
- ⑥ 飯田則夫、『図説 日本の軍事遺跡』 河出書房新社、2004年、ISBN 4-309-76048-1、1,600円
- ⑦ 安島太佳、『日本戦跡—安島太佳由写真集』 窓社、2002年、ISBN 4-89625-041-9、3,800円
- ⑧ 渡邊秀樹・樽永（編）『写真と地図で読む—知られざる軍都 多摩・武藏野』 洋泉社、2005年、ISBN 4-89691-905-X、1,000円
- ⑨ 洋泉社編集部（編）、『知られざる軍都 多摩・武藏野を歩く』 洋泉社、2010年、ISBN 978-4-86248-599-1、1,300円



### ドキュメンタリー映画紹介

『丸木井里・丸木俊  
沖縄戦の図全 14 部』  
沖縄・佐喜眞美術館に収蔵される  
「沖縄戦の図」全作を紹介する  
7月 15 日から  
ポレポレ東中野にて上映予定



別所憲法9条の会ホームページ <https://bessho9.info/>

